

# 町長日誌

No.197



町長日誌の第197号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

## 3月16日(月)

先週、13日(金)に定例議会が閉会しました。お陰様で新年度の予算と新しい条例案などがすべて原案通り決定しました。3月議会を「第一回定例会」と言います。行政年度は4月→3月ですが、議会は暦年(1月→12月)と異なっています。これは議会が予算を決める権限を持っているからなのです。新年度に入ってから議を開き予算を決めたのでは事業などのスタートが遅くなるので、前年度中に「一回目」の議を開いて行政の年度末までに次年度予算を決めるためなのです。ちなみに、町長といえども決められた予算は1円でもオーバーして使うことは原則出来ないことになっています。しかし、原則ですから特例があり、町長には議会の承認を経ないで予算化し使える権限があります。これを「専決処分」と言い、次の定例会で議会の承認をもらえばよいことになっていますが、実際にこれを議会と事前協議をせずに行えば当然議会は権限を奪われることになりまますから、町は災害時など緊急を要する場合と議会の了解を得た場合に限ってこの手法を取らせていただきます。さて、新年度予算は一般会計で42億6600万円となりました。昨年比で5億余り少ない予算となりました。これは公民館改修などの大きな事業が今年は無いためです。新規の事業としては、現在3棟建設しています民間賃貸住宅(8戸一棟)をもう一棟建設します。さらに個人住宅の新築・改築や雇用者の住居建設など住宅確保に対して新たに補助金を出します。また、高齢者・障がい者・妊産婦へのタクシー利用助成の拡大、おむつゴミ収集の無料化、不妊・不育症治療に対する支援等々新年度は定住・子育てなどの支援に重点を置いた施策を盛り込んだ予算としましたので、それぞれ町からのお知らせを見ていただき、詳しいことは役場までお問い合わせ下さい。

## 3月5日(木)

私事で恐縮ですが、今朝春日町の宅配便事務所から札幌と東京に住む娘たちに荷物を送りました。何を送ったかと言いますと、それは「トイレットペーパー」です。私には二人の娘が居まして姉が札幌、末娘が東京で会社勤めをしています。テレビなどでトイレットペーパーが全国的に買えない騒ぎのニュースが報道されていました。原因は不足するマスクを国内で増産するとトイレットペーパーの生産が出来なくなるという憶測がデマとなり、全国で買いためする人が後を絶たないため問屋の供給が追いつかなくなったからでした。娘に連絡すると「本当にお買えなくて間もなく買い置きが無くなる」と言うので、私は翌日町内の店に行ってみたところ十分にあるとのことでしたので、娘たちは一人暮らしですからそれぞれ1パックずつ送ることにしました。しかし、ペーパーだけではあまりにも味けないと思い、東京の娘には北海道でしか買えない「焼きそば」なども入れる親心的なことも配慮して送りました。東京の娘は喜んでくれたのですが、札幌の娘は「トイレットペーパーはあるからマスクが欲しかった!」と親の心も知らないメールが届きました。この娘は花粉症でもあり、そのために買い置きしていたマスクが底をついているということでした。娘には「送ってやりたいけれど興部でも買えないよ」と伝えるしかありませんでした。恐らく、同じ経験をされているご家庭も多いと思います。現在でもマスクはほとんど手に入らないのが現状です。私は家内にガーゼ生地の布マスクを作ってもらい使用しています。知事は記者会見の度にマスクをされていますが、マスクを手に入れることの出来ない道民が大半なので、私の様に奥さんの手作りマスクをして記者会見されたら好いのかなあと考えた次第です。

バイオガスからメタノールをつくる共同研究をしている大阪大学ではコロナウイルスにも効果のあるDNAワクチンを現在開発しており、現在動物及び人体実験の段階と聞きました。一日も早くワクチンや治療薬が出来ることを願うばかりです。この春卒業を迎えた幼稚園・保育所の年長さん、小学校6年生、中学3年生そして高校3年生の皆さん卒業おめでとうございます。普通に式は出来なかったけれど、良い意味で思い出深い卒業としてとらえてください。では、また。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など(使い古しのもので構いません)に入れ、封をして、町役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務厚生係まで。TEL 82・2131です。

